ピンポン津山

＜指導者紹介＞

津山市卓球協会会長

山下真一

（退職中学校校長）

TEL　090―8241―5962

モットー「みんな原石　磨けば光る」

「自分を大切にする　努力を大切にする」

＜教員時代に子どもたちと残した、ちょっと変わった足跡＞

○　姫路市立大白書中学校に１年勤務。**卓球部**を指導し、団体は県大会出場。個人は全国大会出場。

○　倉敷市立児島中学校に１０年勤務。最初の１年間は男子**ソフトボール部**を指導し、県大会優勝。
その後**卓球部**を創設。市総体団体９連覇。中国大会出場。全国大会出場。

○　倉敷市立倉敷第一中学校に９年勤務。**卓球部**を指導し、県大会優勝。中国大会出場。全国大会出場。

○　久米南町立久米南中学校に７年勤務。校内事情により廃部の決まっていた**卓球部**を４か月間指導し、団体で郡大会優勝。個人で地区大会優勝。県大会出場。
直後に勤務校外に**ピンポン津山**を創設し、部活動との両立が始まる。
引き続き同校**野球部**を４年間指導し、郡大会３連覇。地区大会優勝。県大会出場。
校内事情によりそのまま同校で２年間**バレー部**を指導し、郡大会優勝。

○　美作市立作東中学校に３年間転勤。２年間**サッカー部**を指導し、地区大会優勝。県大会出場。
同校で１年間**卓球部**を指導し、市大会優勝。地区大会３位。県大会出場。

○　このあと管理職になり、鏡野町立鏡野中学校校長として定年退職。この間も**ピンポン津山**の指導は継続し、現在までに中学校の団体戦で男女合わせて美作地区優勝 22 回。岡山県ベスト４以上９回。個人戦は小・中学生合わせて 11 度の全国大会出場。

上記の内容を見ていただければ、私が無償でピンポン津山を指導している理由もご理解いただけると思うのですが「誰でもその気になれば輝くことができる」「子どもたちには夢を追いかけることの充実感を体験させてあげたい」と思っています。

そして様々なスポーツを指導してきてなぜ卓球なのかと言えば、卓球は色々な戦型があり、一人一人の個性を伸ばしやすいスポーツだから個人的に好きなのです。